



メインセッション テーマ1

The 12th East Asia Local and Regional Government Congress

第12回東アジア地方政府会合 メインセッション テーマ1次第

時間

▶ 2023年10月26日 (10:45-12:15)

会場

▶ 臨沂藍海国際飯店(沂河店)4号棟 3号会議室

テーマ

▶ 「RCEP 協力枠組みの下で地域間交流と協力を強化する方策」

司会者: 察哈爾(チャハル)学会創立者兼秘書長、高級研究員 柯銀斌

- 察哈爾(チャハル)学会東北アジア事務首席研究員、元駐韓国中国大使館大使 邱国洪
- 奈良県知事 山下真
- 臨沂市委常務委員、副市長 隗新陽
- ベトナム・フートー省人民委員会副主席グエン・タイン・ハイ
- インドネシア西ジャワ州貿易・工業局局長ノネン・コマラ・ネング・シ
- 日本和歌山県企画部長 前昌治
- 韓国瑞山市副市長 ク・サン
- 陝西省西咸新区空港新城党委書記、管理委员会主任 張蔚
- 敦煌市副市長 原娜
- 韓国公州市市民自治局局長 チェ・ドクグン
- 臨沂大学外国語学院院长、教授、山東省級シンクタンク
臨沂RCEP区域協力研究センター執行院長 張笛

第12回東アジア地方政府会合 メインセッション テーマ1

2023年10月26日、第12回東アジア地方政府会合のメインセッション(テーマ1)が開催された。会議では、日本、中国、ベトナム、インドネシア、韓国などの地方政府及び中国国内の大学、シンクタンクの代表たちが集まり、「RCEP 協力枠組みの下で地域間交流と協力を強化する方策」について議論が行われた。

邱国洪



全面的に発効されたRCEP協定は中日韓三カ国、特に、地方政府間にとって、互惠・ウィンウィン・協力を深めることで互いにメリットを享受できる枠組みだと考える。中日韓三カ国の地方政府、経済団体、企業が積極的に行動し、RCEP協定における企業間連携に資する諸規定を最大限に活用し、三カ国地方政府の都市の中小企業の参画を呼びかけていくことが重要である。このような課題を解決すれば、経済貿易における中日韓三カ国の地方政府間の協力は必ず新たな局面を迎えるだろう。

山下真



関西は1500年以上前から東アジアと関わりのある地域であり、関西の輸出入に占めるアジア向けの割合は全国に比べ約5ポイント高く、アジアの高度経済成長の恩恵を享受できる立ち位置。奈良県への投資を促進するため、補助金や税制優遇などの支援制度による積極的な誘致活動を展開している。県内中小企業の競争力を強化するため、RCEP地域諸国を含めた海外進出の支援や新たな販路拡大の取組を実施する。

隽新陽



ここ数年、臨沂市は常に「開かれた協力、互惠・ウィンウィン」の発展理念を堅持し、RCEP地域の国々との人的文化交流、経済貿易を深化させている。具体的には、共通認識を固め、地域協力を深化させること、協力・ウィンウィンの理念をもって、共同の発展を促進すること、交流を深め、友好都市交流の効果を最大限に引き出すことがあげられる。東アジアの各地方政府と文化、教育、医療、科学技術、観光、青少年とあらゆるレベルでの様々な分野における交流や連携を強化し、国民の相互理解を深めていきたいと考えている。我々は友情をもって、各国とともに友情の橋を架け、新たな連携プラットフォームを共有し、新たな成長できる分野を切り開くことで、東アジア地方政府会合の国際的影響力を高め、地域協力の模範的なモデルの役割を果たしていく。

グエン・タイン・ハイ



ベトナム北部の中部山岳地帯に位置し、面積3,500km²以上、人口160万人余りのフートー省は、北部地域の中心部に位置し、全国運送網における拠点都市であるため、国内外に向け、包括的な経済発展、連携、交流、貿易のための有利な条件が揃っている。今後、我々は引き続き以下の取り組みを実施していく。まず、行政の仕組みの最適化を図り、開かれた実利のあるビジネス環境を整える。次に、現代的なインフラ整備に同時に投資する。そして、生産、経営、市場能力などの面で企業をサポートし、貿易を促進することで外資誘致を促進する。「互惠・ウィンウィン」をモットーに、協力と連携を促進し、フートー省の商品の海外展開や販路拡大を実現したい。

ノエン・コマラ・ネング・シ



中国はインドネシアにとって最大の貿易相手国であり、西ジャワ州はインドネシアで最も人口が多く、産業化が最も進んだ州であるため、両地域間の貿易も非常に重要である。中国と西ジャワ州間の貿易輸出は、互いの経済成長を促進し、雇用を創出し、外貨収入を生み出し、地域経済一体化を促進することにつながることを期待されており、ひいては両国経済の発展に寄与するものと確信できる。

前昌治



和歌山県は国際交流を推進するため、歴史的につながりのある国々をはじめ、多くの海外地域とさまざまな協力事業を行ってきた。1984年に中国山東省と友好提携を結んで以来、さまざまな交流事業が行われてきた。近年では、高齢者問題に関する研修団を相互に派遣したり、オンラインセミナーを開催したりして相互理解を深めている。2022年には中国四川省とも友好協定を締結した。オンラインでの青少年交流や観光フェアへの参加、総領事館との合同防災セミナーなど、着実に関係を深めている。和歌山県がさらに発展・成長していくために、RCEPの枠組みのもと、地域交流や経済協力を積極的に取り組んでいく。

ク・サン



瑞山市は、国際的都市として、また全国のハブ都市としての役割を果たすために努力している。国際交通要衝として、忠清南道唯一の国際旅客海港である大山港を利用して国際クルーズ船の運航を計画している。疫病の流行により困難な状況となっている国際観光が、国際クルーズ船や国際空港を通じて回復することを期待している。特に、海を隔てている中国の会員地方政府との協力関係を強化したい。過去70年間で、東アジアを含む世界全体は、比較的平和で安定した状況を背景に、協力と貿易の拡大を通じて目覚ましい経済発展を遂げてきた。東アジア地方政府会合が貿易を復活させるプラットフォームとなり、地域の平和と共存に貢献することを期待している。

張 蔚



空港新城は、「RCEP」の開かれたプラットフォームと市場に焦点を当て、独自の優位性と機能性を組み合わせて、今後3つの分野に力を入れる。1、地域や経済発展を推進するエンジンの役割を果たす空港をしっかりと育てること。2、開かれた新たな機能を強化すること。3、臨空産業チェーンを育成すること。空港は、第三期の空港建設を機に、RCEP国向けの国際便を就航させ、増便するほか、ゲートウェイ・ハブ機能を確保するための産業、空港を中心とする先端的な製造業、空港を中心とするハイクラスサービス業といった特色のある空港産業クラスターを育成することで、より開かれた効率的かつ便利な空港環境を整備し、東アジアと世界を高速に繋ぐ「空中シルクロード」を構築できるよう努める。

原 娜



第12回東アジア地方政府会合が成功裏に開催されたことは、文化芸術の交流につながり、協力と発展の機運を高める原動力を与え、人的文化の融合のための対話の扉を開いてくれたに違いない。我々は、相互補完、資源共有、共同発展の原則に基づき、地方自治体との幅広い連携と交流を一層深化させ、互惠・ウィンウィンを実現するために努力し続ける。

チェ・ドクグン



長い歴史と素晴らしい文化を持つ公州市は、自然と調和した幸福な都市である。思い出に残る体験を追求し、熊津百済ならではの文化を体現する価値ある観光資源を開発することで飛躍的な発展をとげ、公州市を訪れる観光客の満足度を向上させることで市の競争力を確保する。過去と現在が共存する公州市は、東アジアの多くの都市に匹敵する歴史と文化の都市であり、皆様方と協力すれば、お互いの特色ある観光資源をフルに活用でき、より良い都市の顔を見せることができるだろう。

張 笛



RCEPの枠組みの下で、臨沂市はかつてない大きなチャンスとチャレンジの両面に直面している。シンクタンクが革新的な発展方策を積極的に模索し、多言語サービスや、人材の競争力の向上を担うことが期待されている。また、シンクタンクの参画は意思決定者に知恵を提供するとともに、政策立案と実施を促進する役割を果たしていく。これによって、臨沂市とRCEP地域の質の高い経済成長の実現や、人々の幸福と地域の繁栄に大いに寄与できると考える。

